



星槎スポーツ新聞

第13号 ★ 2017年8月11日(金)

星槎グループ セイスポ編集部発行
神奈川県 中郡大磯町国府本郷 1805-2

第一シードで臨む夏の甲子園 神奈川県予選 開幕



球場に響く校歌

第一シードで臨む初の開会式
第99回全国高等学校野球選手権神奈川県大会が7月8日、開幕した。全国最多の189チームが出場し8月7日に開幕する阪神甲子園球場での全国大会への切符をかけ、11球場で熱

戦を繰り広げる。星槎国際湘南は、第一シードで臨む初めての夏。入場行進では、東海大相模高校に次ぐ6番目に登場した新鋭校に会場からは大きな拍手が送られた。

戦を繰り広げる。星槎国際湘南は、第一シードで臨む初めての夏。入場行進では、東海大相模高校に次ぐ6番目に登場した新鋭校に会場からは大きな拍手が送られた。

本田13奪三振で好スタート

シードで2回戦からの登場となる星槎。相手の

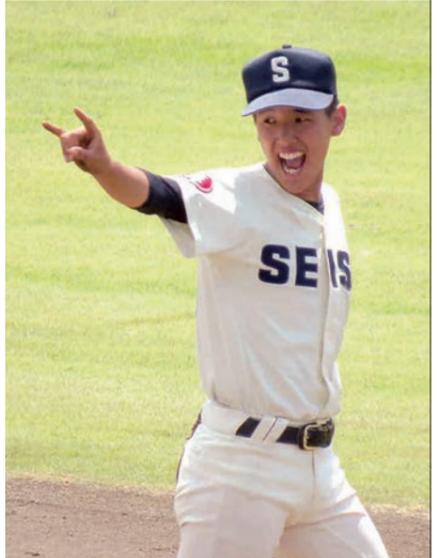
振を奪いピンチを脱した。その後、危なげない投球を展開し、9回を投げ切った被安打2、奪三振13と本田らしいピッチングで完封した。

先発はエース本田(3年)。先頭打者と続く2番打者から連続三振を奪い、その後2つの四球を与え2死1、2塁のピンチを招くが、5番打者から三

石橋、佐野、本田の継投で7回コールド

チームは快勝

私立麻布大附属高校の投手は130kmを超えるストレートを軸にコースを丁寧に投げ分ける。星槎の先発は石橋(2年)で1回、2回と味方の援護を受けられない苦しい展開でありながら我慢の投球をみせる。6回を投げ被安打2、奪三振8、失点0で、スコアリングポジションへの進塁を許したのはたった1回という抜群の内容でチームを救う。3回、四球や失策をきっかけとし2死満塁とする、6番田島(3年)がレフト前にタイムリーヒットを打ち2点を先制。その後、5回に1点、6回に1点を奪い4対0とリードを広げて迎えた7回、ヒットと四球で1点を追加した。なおも無死満塁の好機で代打花森(1年)がライトオーバーの走者一掃タイムリースリーパーを打ちゲームを決めた。その後2点を追加し、一挙6得点。10対0とし、最後は佐野(3年)と本田が継投し勝利した。



チームを陰で支え続けた金子主将

相手監督は土屋監督の旧友 本田対策に難航

県立綾瀬高校も2回戦からの登場。右サイドハンドのエース春川は、最速137kmのストレートとキレのあるスライダーを武器とする長身の投手。初回、いきなり出塁をくじかれた。先発はエース本田(3年)。先頭打者に右中間を破るスリーベースを打たれると、続く2番打者にライト前ヒットを許し先制点を許した。嫌な空気が立ち込める中、その空気を一蹴したのが1年生花森だった。振り逃げと四球で2死1、2塁の好機をもらうと、5番花森がライト前にタイムリーヒットを打ちすかさず同点とした。2回以降、本田も立ち直り、その後許したヒットは1本という見事な投球をみせる。終わってみると9回を投げ、被安打3、失点1、奪三振8という内容だった。

攻撃陣は5回、ヒットと四球に相手の失策も加わり2死満塁としたところで代打杉田(3年)のセカンドへのタイムリー内野安打でようやく1点を勝ち越し、この試合初めてリードを奪う。なおも2死満塁の場面で8番本田がレフト線に2点タイムリーとなるヒットを打ちこの一回一挙3点をあげた。

古豪日大を相手に惜敗最後の夏

日本大学高校は2年生エース中島が先発。左のスリークォーターから投げ込まれるストレートは最速138kmと威力十分。試合は前半と後半で全く違う展開をみせた。前半は投手戦。先発の本田(3年)は5回までにヒットを4本許し、1死満塁というピンチもあったがなんとか無失点で試合を折り返した。

攻撃陣も相手投手の威力あるストレートに抑え込まれるが、5回、7番大城(3年)がレフト前ヒットで出塁すると、送りバントと9番神尾(2年)のライト前ヒットで1死1、3塁という好機をつくり、迎えた代打杉田(3年)がセンターへ犠牲フライを打ち1点を先制した。しかし直後の6回、2死1塁から相手の7番打者に



魂の投球 エース本田

レフトオーバーのタイムリーツーベースを打たれ、同点とされると、送球エラーも絡んでなおも2死3塁というピンチを招く。8番打者にレフト前へのタイムリーヒットを打たれ逆転を許した。流れが行ったり来たりする中、その裏、ヒットと四死球で2死満塁とする、9番神尾がレフト線に2点タイムリーツーベースを打ち、再度逆転に成功した。さらにチームを陰で支えてきた主将の金子(3年)のレフトへのタイムリーヒットで4対2とリードを2点に広げた。

残るイニングは3回。本田の力があれば逃げ切れる点差とイニングではあったが、前の打席で受けた右手への死球で思うように力が入らず、投球が乱れる。7回、先頭打者にレフト線へのツーベースを打たれると、つづく2番打者にライトオーバーのタイムリースリーパーを許し1点差とされた。1死としたあとの4番打者のファーストゴロの間に三塁走者がホームインし同点。さらに送



1,000人の大応援団

初めて味わう第一シードの重圧。スタンドを染めるグリーンの大応援団に心から感謝
3年生にとって、ラストゲームとなった日大戦。追いつかれても追い抜かれても、誰一人諦める選手はいなかった。最終打者がライトフライに終わると、スタンドからは大きな拍手と共に「お疲れさま」「ありがとう」などの言葉が選手に送られていた。最後の最後まで、一緒に勝利を信じ、共に戦ってくれたスタンドの仲間から「ありがとう」と伝えたい。
(星槎国際湘南硬式野球部 コーチ 佐々木勇人)

この夏、全国で躍動する生徒たち

全国高等学校 総合体育大会 女子サッカー大会

- ◆ サッカー 女子 湘南学習センター
 - 宮澤 ひなた、江原 奏音、夏目 萌由、喜多村 未来、上野 彩音、江原 奏音、杉山 華乃、百瀬 碧依、鹿島 栞、斉藤 美岬 (3年)、加藤 もも、渋谷 巴菜、安保 舞美 (2年)、小野 葵、針生 理菜、黒古 ひとみ、高橋 沙矢香、船附 真子 (1年)

全国高等学校 ライフル射撃競技選手権大会

- ◆ ビームライフル立射 女子個人 沖縄学習センター 喜納 夕莉 (2年)

全国高等学校 定時制通信制 体育大会

今年度も多くの選手が、定通全国大会(平成29年度全国高等学校定時制通信制体育大会)に出場を決めている。全国大会の切符を手にした仲間を紹介する。

- ◆ ソフトテニス 女子シングルス 八王子学習センター 岩上 希海 (3年)、松井 海南江 (3年)
- 女子ダブルス 沖縄学習センター 仲原 歩 (3年)、内間 さら (2年)
- 八王子学習センター 岩上 希海 (3年)、松井 海南江 (3年)

- ◆ 卓球 男子個人 帯広学習センター 神代 幸多 (2年)
- 沖縄学習センター 前田 俊平 (3年)
- 男子団体 帯広学習センター 林 拓菜 (2年)、神代 幸多 (2年)
- 長崎 太洋 (1年)
- 女子個人 帯広学習センター 井川 遥香 (2年)
- 仙台学習センター 高橋 美咲 (1年)

- ◆ 剣道 男子個人 福井学習センター 山本 将也 (1年)
- 星槎学園北斗校 守山 裕稀 (2年)
- 柏高等技術学園 南條 凌平 (3年)、石戸 貴斗 (1年)
- 松川 和正 (3年)
- 男子団体 柏高等技術学園 南條 凌平 (3年)、石戸 貴斗 (1年)
- 松川 和正 (3年)
- 女子個人 八王子学習センター 大橋 美沙 (2年)

- ◆ 柔道 男子個人 富山学習センター 清水 建稀 (3年)、竹内 琳樹也 (2年)
- 郡山学習センター 大河原 大輔 (3年)、吉田 大喜 (3年)
- 男子団体 富山学習センター 清水 建稀 (3年)、竹内 琳樹也 (2年)
- 郡山学習センター 大河原 大輔 (3年)
- 女子個人 福井学習センター 山下 真葉 (2年)

- ◆ バドミントン 男子シングルス 福井学習センター 正木 貴也 (2年)
- 女子シングルス 広島学習センター 木下 琴乃 (2年)、三東 舞子 (2年)
- 女子ダブルス 広島学習センター 木下 琴乃 (2年)、三東 舞子 (2年)
- 西田 ほのか (2年)、秀浦 瑚華 (2年)
- 女子団体 富山学習センター 林 れな (2年)

- ◆ 陸上競技 男子 100m 帯広学習センター 栗本 寛也 (2年)
- 広島学習センター 大村 太一 (3年)
- 400m 帯広学習センター 瀬尾 晃司 (3年)、栗本 寛也 (2年)
- 400mH 帯広学習センター 瀬尾 晃司 (3年)
- 800m 福井学習センター 正木 貴也 (2年)、竹島 悠貴 (3年)
- 広島学習センター 寺口 晃太郎 (3年)
- 1500m 福井学習センター 正木 貴也 (2年)、伊藤 里夢斗 (3年)
- 5000m 広島学習センター 寺口 晃太郎 (3年)
- 走幅跳 福井学習センター 竹島 悠貴 (3年)、水井 玲音 (1年)
- 走高跳 福井学習センター 村居 勇準 (2年)、吉川 侑希 (3年)
- 八王子学習センター 半井 裕大 (3年)
- 女子 100m 帯広学習センター 遠藤 真南 (3年)
- 福井学習センター 林 美伶 (3年)
- 200m 福井学習センター 林 美伶 (3年)、和田 祈穂 (1年)
- 仙台学習センター 佐々木 唯 (1年)
- 400m 仙台学習センター 佐々木 唯 (1年)
- 800m 福岡中央学習センター 吉嗣 楓 (1年)
- 3000m 福岡中央学習センター 吉嗣 楓 (1年)、内藤 綾 (3年)
- 走高跳 福井学習センター 和田 祈穂 (1年)
- 走幅跳 福井学習センター 久保 摩里愛 (3年)

- ◆ 自転車競技 (1キロタイムトライアル、4キロ速度競争) 浜松学習センター 伊藤 恭佑 (2年)

全国高等学校 定時制通信制 軟式野球大会

- ◆ 軟式野球 立川・八王子合同チーム 立川学習センター
 - 谷合 侑也 (2年)、大沢 俊輔 (2年)、是永 竹徳 (1年)、海野 聡汰 (1年)
- 八王子学習センター
 - 種藤 颯太 (専攻科1年)、秦 啓一郎 (3年)、宮田 大輔 (3年)、尾形 太陽 (3年)、徳永 怜 (1年)、田中 康喜 (1年)、園田 龍成 (1年)、佐藤 梨乃 (2年)



宮澤会長と共にソマホン NPO法人 IFE 国際財団理事も表彰されました

星槎グループ会長 宮澤保夫氏 外務大臣表彰受賞!

星槎グループ会長であり、世界子ども財団の創設者である宮澤保夫氏が、平成29年度外務大臣表彰に選出され7月6日(木)に授与された。

未来に向けて スポーツを超え

通じた青少年の育成などが認められ、表彰に至った。授賞式はとも厳粛な雰囲気の中で行われ、宮浦健太郎外務副大臣より授与された。

今回は個人表彰であったが、星槎グループ、そして

ブータン陸上競技中長距離 トレーニング はやくも第二弾始動!

2017年4月、星槎グループの主導により東京オリンピック・パラリンピック大会における神奈川県での事前キャンプ協定を締結したブータン王国。星槎グループが2020年を契機にブータンで実施しているプロジェクトのひとつとして、陸上競技中長距離の集中トレーニングについて前号でお伝えしたばかりだが、早くも第二弾が始動している。派遣された星槎

アスレチッククラブ所属の田中由一コーチへの「はやく戻ってきてほしい」「いつ戻ってきてくれるのか?」という現地陸上競技連盟や参加者からの嬉しい問い合わせにこたえるべく、今回は7月から9月の2ヶ月間にわたり、田中コーチが現地で活動する。田中コーチの豊富な知識や経験をブータンの若いアスリートたちに伝え、競い合い、助け合う中で、スポーツを通じて共生社会

の現現へ向かう。田中コーチの今後の活躍とブータンの成長に期待したい。

SEA Games(東南アジア競技大会)開幕へ! ミャンマー陸上競技長距離、柔道チームに注目!

「Myanmar-Japan Sports Collaboration」の協定を結んでいる星槎グループとミャンマーオリンピック委員会。それをきっかけに星槎が実施している支援活動については、陸上競技代表チームへの村田剛コーチの派遣、また柔道代表チームの長期合宿の星槎道都大学での受け入れをこれまで本欄でも紹介してきた。

彼らの直近の目標は、今年8月にマレーシア・クアラ Lumpur で開催される2年に1度のSEA Games(シーゲームス・東南アジア競技大会)におけるメダル獲得だ。そのSEA Gamesは、いよいよ8月19日(土)に開幕する。星槎がサポートしてきた選手たちの活躍を、ぜひ応援していきたい。

星槎国際高等学校湘南学習センターを訪れており、エリトリア国からの留学生デジエン君とアヌール君は、同校陸上部のメンバーとして中学生に走り方の指導を実施。交流会の最後は、全員で自分たちの夢を描いた、スカイプロジェクトのシ

エリトリア留学生 SKYプロジェクトでの交流

2020年の東京オリンピック・パラリンピック大会に向け、神奈川県、小田原市、箱根町、大磯町

と星槎グループは、事前キャンプの受入れ国エリトリアやブータンとの交流を通じて、地域におけ

る(ス)スポーツの振興、(K)教育文化の向上、(Y)友好関係を構築する「SKY(スカイ)プロジェクト」を進めている。その一環として、大磯町の星槎湘南大磯キャンパスで、交流会が催された。この日は、星槎名古屋中学校の生徒が修学旅行で

サッカー北マリアナ諸島女子代表、箱根キャンパスで合宿実施

サイパンをはじめとする北マリアナ諸島自治連邦区(CNM)の女子代表チームがEAFFE(エーフェー)フットボールチャンピオンシップ2018予選第1ラウンドに向けたトレーニングキャンプを6月21日(水)から26日(月)まで実施。星槎箱根仙石原スポーツクラブが受け入れを行った。星槎湘南大磯キャンパスでは6月24日

ンボルでもある紙飛行機を一緒に飛ばした。遠く離れたエリトリア国から、日本にやってきたデジエン君とアヌール君。二人が覚えてたの日本語で紙飛行機に込めた夢はもちろんだ。2020年東京オリンピックへ出場することだ。

都大

2020年、トキョーで逢いましょう!

8月、マレーシアで行われる「東南アジア競技大会」に出場するミャンマーの柔道ナショナルチームのメインサンさん(男性)とエーエーアウンさん(女性)、星槎都大柔道部の佐藤正章さんと福島清恵さん(ともに経営4年)に話を聞いた。

現在、滞在している宿舍や練習環境で不便なところはなく、快適に生活



ミャンマーの柔道選手と共に

し、練習にも身が入っている、とエーエーアウンさん。柔道部の学生とも友人関係を築けているとメインサンさん。マレーシアの大会は9か国が参加するが、ライバルはタイやベトナムで、目標は「もちろん、金メダル」と笑顔で二人は答えてくれた。柔道部の一人からは「体格が大きな選手と組むときに、ビビらないこと」「寝技のレベルを上げるともっと強くなる」というアドバイスがあった。「もし、2020年、ミャンマーの選手と東京で戦うとしたら」と聞いたら「正々堂々と勝負したい」「相手で勝ちたい」と目を輝かせた。2020年、東京で、ミャンマーの選手と星槎都大の選手が戦い、それをオール星槎がどちらも応援する...そんな日が待ち遠しい。

帯広学習センター 全国大会に向けて

帯広学習センター卓球部部長の林拓実君に代表して意気込みを語ってもらった。

「1年生から全国大会に向けて努力してきた。昨年は全国大会への切符は掴めずに終わった。しかし、今年は見事、団体戦で全国大会の切符を掴む事ができた。ここまでくると自分たちを応援してくださった方に感謝します。これからも応援よろしくお願いします。」

週2〜3回のペースで練習している。その他に、体育の授業の中で基礎体力をつけるトレーニングをしている。限られた時間の中で、どれだけ集中



卓球の練習に励む帯広学習センターの選手たち

して練習に取り組めるのかを意識し励んでいる。自分たちの課題はいかにミスをせず、相手のミスを誘えるかだ。どれだけ強い相手にあたってもしっかり勝利への執念を忘れず日々の練習から自信をつける。

オリンピックメダリストの太田雄貴選手らを育てたフェンシング元日本代表監督の江村宏二さんが、オリンピックを戦った経験を持つ専門のスタッフを集め、選手強化をサポートする事業を展開する。また、星槎国際高等学校とアスリートキャリアプログラムで提携する。

短信

フェンシング元監督 選手強化へ

星槎グループが後援する日本国際保健医療学会・学生会(通称:ajis)企画「失敗から学べ!異国のコミュニケーション」国際機関とフィリッポの2つの視点から」が7月1日に順天堂大学にて開催された。

第5回 星槎グループ後援企画

上半身へと伝えるのにも役立つ。②パフォームンスの向上。四肢を動かす際に体幹の筋肉を連動して動かす。その為、力の伝達やスムーズになり、俊敏性やパワーを発揮できるようになる。力の伝達について一つ実験をしてみよう。二人一組になり、一人はイスに座り、利き手を前に出す。もう一人は腕を上から押す。この時に、座っている方は腕が下がらないように抵抗すること。通常の時にドローインを入れた時と二回行う。上手くドローインが出来れば力の入り方が変わり、体幹からの連動を感じられる。また、野球の投球動作などの下半身からの力を

体幹トレーニング

オピニオン

星槎国際湘南男子サッカー部 トレーナー

高橋 尋

今回は体幹トレーニングについて伝える。体幹トレーニングの事を知って、より効果的なトレーニングを実践してほしい。

体幹とは

皆さんは体幹と言われている部分の思いをつくらうか? 腹筋、背筋、臀筋、胸筋と様々なことを思いつくだらうか? どれも正

解だ。体幹とは体の胸の部分を指す。身体全体から首から上と四肢(腕と脚)を除いた部分が体幹と言われる。その中でも深部にある横隔膜、腹横筋、多裂筋、骨盤底筋群と呼ばれる4つの筋肉がとて重要になってくる。

ドローイン

体幹トレーニングを始める際にやって頂きたい呼吸法がある。それがドローインだ。

ドローインとは「凹ませる」「引き込む」という意味がある。やり方は簡単だ。仰向けで寝て膝を曲げ、その状態で鼻から大きく息を吸いお腹を膨ら

らませる。口から息を出していき、お腹を出さずだけ凹ませていく。この時に、丹田(おへそから約5cm下)を意識して凹ませる。ドローインをするこ

とで腹横筋が収縮し、腹圧を上げ体幹を固定する事が出来る。

体幹トレーニングの効果

体幹トレーニングを行なうことで様々な効果が得られる。

①姿勢が良くなる。体幹を鍛えることで腰椎が安定し、さらに腹圧も上がる。腹圧が上がるとそれに押し出されるように背骨が伸びる為、姿勢も良くなる。姿勢が良くなる

この他にもまだまだ得られる効果はたくさんある。ただし、行う際には注意が必要だ。正しい姿勢や、やり方でトレーニングを行わないと効果が出にくくなってしまっただけでなく、腰痛などの原因にもなりかねない。これから始める方も、今まで行ってきた方も、今一度やり方を確認し、効果を実感しながら行ってほしい。

ニュース速報

ご声援をお願い致します。

西相夏季陸上競技大会

星槎国際高校湘南学習センター1年のデジェン・テスファレム・ウェルドゥは、故障から復帰後の初レース。タイムを狙うレースではなく身体のチェックと試合経験を目的とした大会だったが、スタートから終始トップで安定した走りだった。記録は15分34秒85で優勝。

同じく1年のアヌール・モハメド・アタは、800m、1500mの選手だが、来日から休まず練習を継続させ、初の5000mに挑戦し、自分のペースをしっかり守り、16分13秒33で3位に入賞。

3年の大塚光司は、タイムは良くなかったが、粘りの走りですべて入賞することできた。

第29回 ユニバーシアード競技大会

星槎大学の村上和基さんが、第29回ユニバーシアード競技大会に日本代表選手として水泳(飛込み)競技に出場します。

インターハイ 日本一を目指し

星槎国際高等学校湘南学習センター女子サッカー部はインターハイ県予選を3年連続で優勝し、インターハイ関東予選に出場した。関東予選では史上初の2年連続優勝を成し遂げた。また、大会の優秀選手に6名も選出されチームは勢いにのっている。

今年は2回目となるインターハイ本大会(平成29年度全国高等学校総合体育大会女子サッカー大会)出場だ。初戦は福島県私立桜の聖母学院高校だ。初戦からしっかりと勝ちきり勢いをつけ優勝目指し、チーム一丸となって大会に臨む。昨年度は初出場ながら1回戦を突破し2回戦で惜しくも破れた。昨年度の反省を踏まえ、真夏の開催で非常に苦しいゲーム展開になることを実感し、今年は星槎らしいサッカーを全国に魅せ、日本一を目指す。熱い試合をします。共に戦いましょう! 熱い

星槎 教師 列伝

頑張ることが 夢を叶える第一歩

星槎国際高等学校 大阪学習センター長 門野小百合

そのお陰で、前後開脚は220度ほどまでになり、体が柔らかくなった。日々の練習も、舞台にあがれば練習の半分程しか発揮することができないので、120%のパワーで練習した。

青年期からスポーツや芸術に没頭できる環境が少ないのはどの競技においても同じだが、星槎の部活動・スポーツ専攻は、高校生の頃から文武両道を目指せる環境が整っていることは素晴らしいと思う。

ひたすら頑張ることで各自が思い描く夢を叶えてほしい。

小学校5年生の頃、自宅近くにバレエ教室ができた。と案内が入っていたので、「行ってみたいわ?」と母から勧められて、行くことにした。そこから門野のバレエ人生は始まった。

実績は高校時代にNBA全国バレエコンクール9位、埼玉全国舞踊コンクール・東京新聞全国舞踊コンクールで入賞、大学時代にNBA全国バレエコンクール7位、Osaka Mom's全国クラシックバレエコンクール入賞など数々のコンクールで入賞。

尊敬する入江あや先生は、忠実で、正確、人間的にも芸術とは何かを教えつけてくれる先生で、必ず成果の出る指導をしてくだ



門野小百合 センター長

セイスポ

福井学習センター、名古屋学習センター、浜松学習センターからも生徒が参加し、共に交流を深めながら、競い合った。好成績を収めたのは、八王子学習センター。ほぼすべての競技で優勝、入賞を収めた。日頃の教育活動の成果の賜物だと言える。そして、BLEA女子高等部の元気の良さは、会場内を元気にいっぱい盛り上げてくれた。

今年度の星槎オリンピックスポーツ部門は、7月7日(金)に川崎市のとろろきアリーナにて行われた。スポーツ部門として、バスケットボール、ソフトバレーボール、ドッジボールから卓球、玉入れ、大縄跳び、玉入れ、豆つかみけん玉、万歩計ダッシュ、体内時計、ルービックキューブ、応援旗コンテスト等、非常に多様に富んでいる。競技へ出場する生徒へのアプローチはもちろん、応援生徒、見学生徒まで、主体的に参加でき、かつ楽しめる企画を、思考を凝らしながら準備している。一つひとつの種目に「こんなものがあたら良い!喜んでくれたら嬉しい!良いきっかけが作れば!」など、運営スタッフの想いを込めてつくられているのが特徴だ。

このような様々な企画は、他のどの学校にも無いプログラムだ。星槎だからこそできるのだ。

星槎オリンピックスポーツ部門



バスケットボール大会での激闘

初出場準備優勝に輝いた名古屋学習センターのバスケットボールチームは、高い技術とチームワークを見せてくれた。星槎国際湘南女子バレーボール専攻のメンバーは高い身体能力を見せてくれた。

特筆すべきは、玉入れだ。1分の制限時間で、最大200個の玉のうち199個入るという全人未踏の記録を打ち出した星槎学園北斗校は、多くの中等部メンバーも参加し、会場を盛り上げてくれた。

結びに、星槎オリンピックは、スポーツの醍醐味である「みる・みる・ささえる」の体現を目指している。仲間を思い、支えてくれる人たちに感謝し、補い合いながら、チームとして参加していた。

メイン競技結果

◆バスケットボール

- 優勝 星槎国際高等学校 八王子学習センター
- 2位 星槎国際高等学校 名古屋学習センター
- 3位 星槎高等学校
- 3位 星槎甲府キャンパス
- MVP 石川 寛隆 名古屋学習センター

◆女子バスケットボール

- 優勝 星槎国際高等学校 八王子学習センター
- 2位 星槎国際高等学校 湘南学習センター
- 3位 星槎甲府キャンパス
- 3位 星槎国際高等学校 横浜鶴居・福井合同チーム
- MVP 巻寄 ももか 福井学習センター

◆ソフトバレーボール

- 優勝 星槎国際高等学校 湘南学習センター
- 2位 星槎国際高等学校 浜松学習センター
- 3位 星槎国際高等学校 八王子学習センター
- 3位 星槎学園 湘南校
- MVP 野末 実紗 浜松学習センター

◆ドッジボール

- 優勝 星槎国際高等学校 横浜鶴居学習センター
- 2位 星槎国際高等学校 八王子学習センター
- 3位 星槎国際高等学校 立川学習センター
- 3位 星槎学園 横浜ポートサイド校
- MVP 山本 航洋 横浜鶴居学習センター

◆卓球 男子

- 優勝 寶村 哲明 星槎学園 湘南校
- 2位 天野 光 星槎国際高等学校 立川学習センター
- 3位 高草木 優 星槎高等学校
- 3位 若菜 元晴 星槎学園 横浜ポートサイド校

◆卓球 女子

- 優勝 酒井 心優 星槎国際高等学校 浜松学習センター
- 2位 霧生 なぎさ 星槎学園 湘南校
- 3位 横手 美波 星槎国際高等学校 八王子学習センター
- 3位 竹田 瞳 星槎高等学校

◆大会

- MVP 村上 陽南 星槎国際高等学校 八王子学習センター

サブ・エントランス結果

◆大縄跳び

- 優勝 星槎国際高等学校 湘南学習センター
- 2位 星槎国際高等学校 立川学習センター
- 3位 浦和高等学園

◆玉入れ

- 優勝 星槎国際高等学校 湘南学習センター
- 2位 星槎国際高等学校 厚木学習センター
- 3位 星槎国際高等学校 横浜鶴居学習センター

◆豆つかみ

- 優勝 おおしま あいか BLEA女子高等部

◆けん玉

- 優勝 河村 悠平 星槎学園 横浜ポートサイド校

◆万歩計ダッシュ

- 優勝 鮎子 功成 星槎学園 北斗校

◆体内時計

- 優勝 水上 和紀 星槎学園 北斗校
- 渡辺 遵基 星槎国際高等学校 八王子学習センター
- 樋代 健太郎 星槎高等学校

◆ルービックキューブ(1面、6面)

- 優勝 鈴木 麻友 星槎学園 横浜ポートサイド校

平成29年度全国高等学校総合体育大会 神奈川県予選



平成29年度全国高等学校総合体育大会神奈川県予選(インターハイ予選)が6月11日、18日に行われた。今年のチームに切り替わったから、新人戦、関東予選と悔しい負け方をしている。今回のインターハイ予選では「必ずベスト8に戻る」という強い気持ちを持って挑んだ。

ベンチメンバー、益山、笠原、南、島村、浜舘、東尾、八田、市倉、宮田、馬場、小島、天野、田中の13名だ。この中でスターティングメンバーは、センター益山、笠原、レフト市倉、宮田、ライト天野、セッター小島、リベロ八田だ。

ベスト16をかけて

予選1日目は、相手との点差も開き、チームに余裕ができたので、浜舘、東尾、島村、南のメンバーチェンジを行い、ピンチサーバーとしてコートに立った。3年生として大きな声を出してチームを盛り上げること、そしてしっかり自分のサーブを自信を持って打ち、点数を取りチームに貢献することができた。控えメンバーの3年生の活躍で、選手たちや応援してくれている人たち、ベンチスタッフの全員が一つになり、無事ベスト16になることができた。

次のベスト8をかけて戦う相手は、川崎市立橋高校だ。橋高校とは、新人戦の時に戦い負けている。全国大会常連校の強豪だが、決して勝てない相手ではない。だが、沢山の経験を重ねているチームなので簡単には勝たせてくれない。前回負けた原因は、「サーブカットが大きくなり、コンビが使えなかったこと」だった。新人戦が終わったから、サーブカット練習を多くやり、少しずつだがサーブカットの返球率も40%を超えて、コンビを展開する回数が増やすことができた。

宿敵川崎市立橋高校との戦い

予選2日目、橋高校のスターティングメンバーは前回と少し変わっている。攻撃パターンは変わらなかったが、個人の技術やパワーは上がっているように感じた。1セット目、スタートで橋高校のリズムに持っていられず、点差を離されてしまった。星槎は緊張と焦りでなかなか点数を取れず、一方的に攻められる場面が多かった。中盤で3年の益山がスパイク得点を取りリズムを取り戻そうとするが、連続得点が取れず、最後まで橋高校の流れで1セット目を取られた。2セット目、1セット目の反省として、スタートから自分たちのバレーである「拾って、繋ぐ、コンビバレー」を展開し、星槎の流れにするために、声を掛け合っていた。中盤まで我慢してついでいくバレーができ、

星槎のコンビが決まり始めた。橋高校はすぐにブロックのタイミングを修正し、星槎の攻撃をほとんどブロックで抑えてきた。終盤に攻め返したが、その時には相手の点数は20点を過ぎていた。橋高校の勢いは最後まで止まらず、25点目はサーブポイントを取られ、試合は終了した。今回のインターハイ予選は、攻撃力の低さを痛感した。身長の違い選手が多い中で、高いブロックのあるチームにどう勝つかが課題になる。スピードをいかし、多様な攻撃を展開すること。そのためにはレシーブ力も上げなければならない。安定したレシーブからコンビを展開できるよ。この夏、しっかりと成長したい。

男子サッカー専攻 高体連B リーグ戦始動!!



試合に臨むイレブン

vs K4リーグ 第1節 綾瀬西B 7対0
(前半2対0 後半5対0)

高体連Bチームとして初めて迎えた公式戦であり、初戦の固さも考えられたが試合開始の笛とともに、星槎は積極的に試合に入ることができた。

中盤でテンポよくパスを繋ぎ最後はMF佐々木が決めて先制した。その後も、中盤でインターセプトした細野がパス交換をしながら攻め上がり、左からアーリークロスを入れ巧みなコントロールから齋藤が追加点を決めた。しかし、一瞬の間からDFラインの背後をとり失点。前半を2対1で折り返した。交代で入った石田が後半31分に細野のコーナーキックを力強いヘディングで叩き込んだ。

vs K4リーグ 第2節 西湘B 3対1
(前半2対1 後半1対0)

第2節は、ボールの転がり方や跳ね方が違う土のグラウンドでの試合であった。開幕戦を大量得点で勝利することができ、その勢いそのままに試合に入りたい星槎であった。

リーグ戦グループで同じ勝ち点で上位を争う鎌倉学園との直接対決、両チームともに勝てば単独首位に立っている。なんとしても勝ちたい試合でもあった。前半開始から星槎が相手陣地に攻め込む。立て続けに柏木の力強いミドルシュートを打ち込むが、ポストにはじかれた。鎌倉学園はサイド攻撃からの空中戦を得意としていたが、GK竹次が安定感あるプレーでシャットアウト。

一進一退の展開が続いたが両チームとも得点を奪えず勝ち点を分け合った。